

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもデイサービスわこう境港		公表日		令和7年 4月 2日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に応じてスペースを分けてしようしております。(体を動かして遊ぶスペース、座って遊ぶスペース)	活動によっては広く使うなど、臨機応変に使用しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員数の基準を満たして運営しております。	適切な職員配置ができるように配慮しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		全体に向けたその日のスケジュール、また個別のスケジュールを使用し、見通しが持てるように週間予定表の使用や、一か月の行事予定がいつでも自分で確認できるように児童と作った手作りカレンダーにを掲示しております。また、片付け等も自分たちで出来るように物の置き場所を決めて写真と文字で分かりやすく知らせております。	個々の分かりやすさに合わせた環境攻勢を行っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		快適な空間で過ごせるよう清掃は毎日行っております。児童も一緒に清掃行うこともあります。	児童の将来を見据えた支援の一環として清掃活動も取り入れるようにしております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウン室を完備し、児童はに、気持ちの切り替えが必要な時は、自身でクールダウン室を利用してもらいます。	気持ちの切り替えがスムーズになり、落ち着いて過ごせるようにクールダウン室を活用していきます。	
6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月の運営会議を行い、職員が全員参加し意見もたくさん出してもらっています。休んでいた職員には伝達を行います。	職員が全員参加出来るように配慮したり、休んでいた職員には伝達を行います。情報共有がしっかりとれるよう配慮していきます。		

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年度事業をを評価して頂き、ご意見を頂いたら業務改善に努めております。	他にも、放課後等デイサービス計画の更新前や、家族会等でご意見を伺い、今後も業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年2回能力開発シートを使用し面談を行うとともに、日々の中でも意見を出し合い、支援や業務改善につなげております。	今後も活発に意見が飛び交う風通しの良い環境を作っていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		年2回業務検査実施記録表を作成し、評価結果を業務改善につなげております。	実地監査、事業所内監査を行い、評価をしていただき、業務改善に努めております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社外研修、社内研修、各委員会でも研修を行っています。	積極的に研修機会を設けるようにしております。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成しは、HPで公開しております。	支援プログラムの公開をご家族様に周知していきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個々の子どもに対してのアセスメント、個別支援会議、ご家族様のご意向をお伺いして、放課後等デイサービス計画の作成を行っております。	今後も継続して放課後等デイサービス計画作成を行ってまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援会議を行い支援内容について検討を行う機会を持っております。	今後もたくさんの職員の意見を計画に反映させていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援を行うため、計画を把握して支援を行っております。毎月、サービス利用状況報告書作成時に計画に沿った支援の振り返りを行っております。	今後も計画に基づいて、支援に取り組みます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ICT化のため導入したアプリの様式を使い、個別支援会議を行います。	職員皆で共通理解し支援ができるようにアセスメントツールを活用していきます。

適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービス計画は、児童それぞれに沿ったもので、具体的な支援内容が設定されております。	今後も5領域を取り入れ、個々に沿った放課後等デイサービス計画を作成していきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		会議や、ミーティングで意見を出し合い決めています。	職員皆で意見を出し合い、決めていきます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的に新しいものを取り入れていくようにしております。	児童の発達を踏まえて考えたり、児童からのリクエストを取り入れたり、職員皆で協力し、情報収集をしております。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		アセスメント等を基に、長期、短期目標を設定して放課後等デイサービス計画を作成しております。	放課後デイサービス計画に基づき、児童の発達に応じた支援を行います。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ホワイトボードに送迎等の役割分担を明記し、申し送りを実施して、確認を行っております。	送迎時間変更、欠席等の確認を行うように努めております。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		記録終了後、申し送りを実施、その日の姿を共有し、統一した支援が行えるよう努めております。	休みだった職員にも情報が共有できるように努めます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ICT化を行い、個人記録には、複数の職員が追記するようにし、複数の視点での記録を心がけています。	特質すべき事案には、一連の経過を別の書面で作成し、記録に綴って全職員に確認します。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		担当制にして、1か月毎にサービス利用状況計画書作成を行い、計画の見直し等に役立てています。	職員間で日々情報共有を行い、定期的に個別支援会議を行い、適時見直しを行っていきます。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		4つの支援活動を意識して放課後等デイサービス計画の作成や、それに基づく支援を行っております。	また放課後等デイサービス計画は5領域も意識して作成し、それに基づいた支援を行っていきます。

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		個々の発達に合わせながら、自分で選択したり、決定ができるように一方的な支援にならないよう努め、一緒に考えて自己決定する力を身に付けられるよう支援しております。	職員間で支援の仕方を話し合い、児童を混乱させることのないように、統一した支援ができるように努めます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参画します。会議前には職員の見解も収集しております。	サービス担当者会議後は、職員間で情報共有を行い、放課後等デイサービス計画や支援につなげております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校と連携し支援を行うように努めており、こまめに情報交換、支援方法について等、連携を取っております。また相談支援専門員との連携で、保育園、児童発達支援センター等からも事前に情報共有を行ってもらい、利用開始時の支援に生かしております。	引き続き、各関係機関と連携を取らせて頂きながら、支援を行っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校と連携を取らせて頂けるように努めております。	学校における利用児童の状況等を把握し、伝えさせてもらい、対応いただくこともあった。今後も連携を取らせて頂きます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談支援専門員との連携で、情報共有を行ってもらい、利用開始時の支援に生かしております。	今後も情報交換や連携を取らせて頂けるように努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	移行する事例がまだありません。	今後そのような事例があった時は、ご家族様に確認を取り、承諾を得たうえで情報提供を行いたいと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	就学とともに児童発達支援を終了する児童が多く、継続して助言をもらう機会は持ていないのが現状です。	今後機会を持っているよう、連絡会に参加した際にはお声がけするなどつながりを持たせてもらっております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	同系列の放デイの事業所とは交流を行っております。	児童クラブ等と交流の機会が持ていません。今後どのような形で交流できるか考えていきます。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加するように努めております。	今後も参加して、業法共有をさせていただくとともに、他事業所とのつながりを大切にしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ICT化したアプリのコメントや連絡事項、送迎時等に様子をお伝えし、情報交換を行っています。	今後もご家族様と共通理解を持てるよう努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今年度から家族会を開催し、今後も開催していく予定です。	家族会アンケートでペアレントトレーニングについてご意向を伺うと、希望される方もあったので今後検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行うとともに、新たに支援プログラムを公開する等の変更や追加があった時はご家族様にお知らせ・説明するとともに、疑問や質問にもお答えしております。	今後も変更や追加があった時には、随時お知らせ・説明していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス計画更新前には、ご家族のご意向を伺う機会を設けております。また児童にも話を伺うようにしております。	今後もご意向を伺う機会をもち、計画に生かしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画更新毎に支援内容の説明を行い、同意を得ております。	今後も丁寧な説明を行っていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族様からのお困り事等への相談は、随時対応しております。	今後も随時対応していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		家族会の他にも、周年祭やクリスマス会等にご家族にも一緒に参加頂く機会を設けており、その際にご家族様同士、きょうだい同士での交流の機会があります。	今後もご家族様同士の交流機会を持てるように努めます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合、迅速に対応し、職員間で共有し、改善に努めております。	今後もご意見を頂きましたら、改善に努めます。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		HP、事業所新聞を発行し、行事や事業所での活動の様子、支援プログラム、避難場所、防災訓練、職員の研修報告等、必要な情報を発信しております。	今後も継続して発信を行っていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫で保管しております。	今後も十分に留意していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		スケジュールや絵カードを使用しております。	今後も必要なツールの活用を行っていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	行事に招待などはできていないですが、地域の中で円滑な事業運営を行えるようコミュニケーションを取っています。	地域に根差した事業所となれるよう事業運営を行っていきます。
	非常時等	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		防災訓練報告等を事業所新聞に掲載し、保護者の方への周知を行っています。
47		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		昨年度業務継続計画を策定し、今年度見直しを行いました。訓練も行い、職員が連携して対応できるように共通理解を図りました。	今後も計画の見直しや、訓練を行い、自然災害や感染症に備えていきます。
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始前に持病やアレルギー、服薬について確認を行い、対応についてもご家族様と話し合い、職員にも共有して迅速に対応できるようにしております。	受診後や、時期での症状など、ご家族様と連携を取って対応していきます。
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	ご家族様からの情報で対応させて頂いております。	今後、症状の重い児童の利用があった場合は、ご家族様とともに医療機関の支持を受けて対応したいと思います。
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員間で話し合いながら、必要に応じて気演習や訓練を行い、安全面に留意して支援を行っております。	今後も安全に支援が行えるよう努めます。

の 対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ICT化して導入したアプリや、HP等で、ご家族様に周知しております。訓練報告等は事業所新聞にも載せております。	今後もご家族様や児童の皆さんに安心して利用して頂けるよう、連携を図っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット作成とともに、再発防止の為に職員間で話し合い、次の支援につなげております。	今後も職員皆で意識して小さな出来事でも情報共有を行い、業務や支援に生かすよう努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会、虐待セルフチェックを行い自分達の支援の振り返りを行うとともに、社外の研修機会があれば積極的に参加して、事業所内でも内研修として伝達研修を行っております。	今後も虐待防止の研修に参加し、事業所全体で人権意識を高く持ち、支援を行ってまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		安全の為に一時的な行動制限を行う可能性のある児童の方やご家族様には事前に説明したうえで、放課後等デイサービス計画書に記載しております。（危険防止の為に手をつなぐ、本児や他児童の安全の為に進行方向に立って行動を止める等）	どのような行為が身体拘束にあたるか、社内外の研修を通して共通認識を高めて、必要要件(切迫性・非代替性・一時性)を把握したうえで支援を行うよう努めております。